

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2026

TOKYO PACK 2026

出展のご案内



包みの技術で 世界に優しさを

Innovative Packaging Technology

~ The link between our future planet and generations ~

東京ビッグサイト大規模改修により展示面積が大幅に減少します。

2025年9月24日(水)より出展募集開始 早期特典は2025年12月12日(金)まで

早々に募集定数に達することが予想されます。出展申込はお早めに！

包装の最新情報が一堂に集まる国際包装展

 **2026東京国際包装展**

2026年10/14水▶16金

東京ビッグサイト
東1-3, 7, 8ホール

開場時間 10:00▶17:00

主催 公益社団法人日本包装技術協会 JAPAN PACKAGING INSTITUTE

TOKYO PACK とは

TOKYO PACKは様々な業界で利用されている包装資材・容器、包装機械を中心に、調達から生産、流通、販売、消費、廃棄、回収、リサイクル、MH・物流に至るまでのあらゆる分野を網羅した日本と世界を繋ぐ国際総合包装展です。

TOKYO PACK 2026 5つのアピールポイント

1 世界有数の国際総合包装展

TOKYO PACKは1966年に東京・晴海で第1回を開催（以降、隔年開催）。日本と世界を繋ぐ国際総合包装展として、国内をはじめ世界中の包装関係者より注目を集め続け、今回31回目を迎えることとなりました。歴史、実績、名実ともに世界有数の国際総合包装展です。

2 国際総合包装展ならではの認知度、知名度、集客力

半世紀以上もの間、わが国包装産業の一大イベントとして開催し続けてきた歴史と、あらゆるユーザー層への認知度、知名度、そして総合展ならではの集客力を誇ります。より多くのユーザー層に会場いただくために、包装産業の最新トレンドや包装実務者に必要不可欠なトピックスをセミナー、展示企画などを通じて紹介します。

3 各種広報ツールの充実

来場者が本展へお越しいただく前にお探しの製品や情報、課題について出展社と相談が可能となる広報ツールを用意します。本展ホームページにて、出展分類ごとに出展社の動画をご覧いただける「**出展製品動画ダイジェスト**」、出展社の最新情報を発信する「**ニュースリリースページ**」等の各種広報ツールを活用することで、次の効果が期待できます。

- 来場できない方にも本ツールを通じ出展情報等が提供できるため、新たな交流が期待できます。
- 来場者は事前に出展製品やサービス等が検索でき、続きを TOKYO PACK 2026 の展示会場で確認できるため、目的が明確である来場者との質の高い打ち合わせが期待できます。
- 上記の広報ツールを活用いただくことで、既存の取引先以外にも新規顧客や海外と繋がるのが期待できます。

4 国内外の包装スペシャリスト・ユーザーへ向けた来場誘致活動

会員数、約1100社を誇る当協会のネットワークを駆使し、食品、流通、医薬・化粧品、日用品、化学などの企業代表者や、決定権を持つ包装スペシャリストに対し、主催者より積極的な来場誘致を実施します。

国内外の包装ユーザー団体、包装関連機関、世界包装機構(WPO)、アジア包装連盟(APF)、世界包装プレス連盟(IPPO)、各国大使館などを通じ、来場誘致に関わるグローバルなPR活動を実施します。

5 積極的なパブリシティ活動、メディアとの連携

地上波テレビ局、全国紙、業界紙・誌、業界有力WEBサイトなどへもTOKYO PACK 2026の情報を発信します。会期直前には、包装関連の報道機関を対象に記者発表会を開催し、業界動向や出展社のみどころ情報などを紹介し、取材や記事掲載を促進するパブリシティ活動を積極的に実施します。また、過去のTOKYO PACK来場者や当協会の催事に参加した方に対し、メールマガジンを随時配信し、本展への来場を促します。

開催概要

- 名 称：TOKYO PACK 2026 – 2026 東京国際包装展 –
Tokyo International Packaging Exhibition 2026
- 会 期：2026年10月14日(水)～16日(金)3日間
- 開場時間：10：00 ～ 17：00
- 会 場：東京ビッグサイト 東1-3, 7, 8ホール
- 入 場 料：1,000円(税込) *WEB事前登録をした場合は無料
- テー マ：包みの技術で 世界に優しさを
Innovative Packaging Technology
～The link between our future planet and generations～
- 目 的：包装資材、包装機械から包材加工機械、食品機械、関連機器類、環境対応機材、物流機器類に至る生産・包装・流通の技術振興をはかるとともに、相談や交流および包装の最新情報発信の場として、国際的な視野に立った社会の発展に資することを目的とする。
- 主 催：公益社団法人日本包装技術協会(Japan Packaging Institute)
- 特別協力：一般社団法人日本包装機械工業会
- 後 援：経済産業省／日本商工会議所／日本貿易振興機構／
日本生産性本部／世界包装機構／アジア包装連盟／
日本マテリアル・ハンドリング(MH)協会／
東京ビッグサイト(いずれも申請予定)
- 協 賛：包装関連約100団体

■実行委員会 (2025年8月1日現在)

実行委員長 新居 善次 TOPPAN(株)		*敬称略・会社名50音順	
副実行委員長 津田 邦夫 (株)タカラ			
実行委員			
高田 知之 artience(株)	喜志 伸幸 大日本印刷(株)		
西川みどり アルマーク(株)	岩崎みづえ DIC(株)		
澤野 啓二 アンリツ(株)	田原 健作 東洋製罐グループホールディングス(株)		
駒井 祐郎 イーデーエム(株)	櫻井 克 TOPPAN(株)		
師井 秀和 出光ユニテック(株)	浪江 栄治 (株)トパック		
山縣 茂 王子産業資材マネジメント(株)	青木 康哲 日本工業刃物(株)		
西園 明美 共同印刷(株)	鍛冶 葉子 日本テトラパック(株)		
甘利 明敏 (株)クラウン・パッケージジ	石原 貢行 日本包装機械(株)		
奥田 佳隆 ZACROS(株)	島里 誓 PACRAFT(株)		
松本 誠志 (株)サンエー化研	大門 徹 三菱商事		
向井 浩也 四国化工機(株)	パッケージング(株)		
中村 彰 ストラパック(株)	石川 淳生 レンゴー(株)		

■出展スケジュール(予定)

2025年	9/24	出展申込受付開始	2026年	7月	記者発表会 来場事前登録開始	2026年	10/11～13	搬入
2026年	3月	出展社ハンドブック配布					10/14～16	TOKYO PACK 2026 開催
	4/24	出展申込締切					10/16～17	搬出(17日11時まで)
	7月	出展社説明会(東京・大阪) 小間割発表		8月	来場案内状・ 車輛証等配布 各種提出書類締切		12月	報告書配布

上記スケジュールは予定です。諸事情により変更する場合があります。予めご了承ください。

■出展対象分類

包装資材・容器	リユース性・リサイクル性・生分解性・バイオマスプラスチック・カーボンニュートラル性容器、カーボンフットプリント対応容器、省エネルギー対応パッケージ、電子レンジ加熱適性容器、加熱殺菌用耐熱容器(レトルト、ボイル)、電磁調理対応容器、アセプティック容器、レトルトパウチ、スタンディングパウチ、スパウトパウチ、ジッパー袋、ガラスビン、缶、アルミボトル缶、PETボトル、プラスチックボトル、各種チューブ、絞り出し容器、液体用紙容器、紙箱、紙成形トレイ、プラスチックトレイ、紙カップ、プラスチックカップ容器、PTP包装、アンプル包材、医療用滅菌パウチ、IVバッグ、トランスファーバッグ、各種包装容器、紙・板紙・紙器、段ボール、プラスチック、パイオポリマー、金属、ガラス、結束・封緘材、緩衝材、不織布、脱酸素材、機能性フィルム・シート、ラベル・シュリンクラベル、キャップ・スパウト、シール、蓋、ラミネート接着剤、各種接着剤、ヒートシール剤、木材・竹材、その他包装資材・容器
包装機械	計量機、計数機、上包機、充填機、びん詰機械、製袋充填機、各種充填包装機、ガス置換包装機、真空包装機、ピロー包装機、シール包装機、シュリンク包装機、容器成形充填機、プリスター包装機、PTP成形機、ラベル貼機、小箱詰機、印字機、バンド掛け機、封緘機、結束機、その他包装機械
印刷・包材加工機械	デジタル印刷、インクジェット印刷、フレキソ印刷、グラビア印刷、各種印刷機、製版装置、紙加工機、プラスチック加工機、押出機、製袋機、打抜機、各種製箱機、各種成形機、サーモフォーミング、ラミネーター、スリッター、カッター、緩衝材製造機、3D技術、脱墨、その他印刷・包材加工機材
食品・医薬品・クリーン関連機材	調理機器、製菓製パン加工機械、食肉加工機械、乳製品加工機械、医薬品加工機械、サニタリー製品、HACCP／GMP対応製品、無菌充填包装システム、レトルト殺菌システム、殺菌装置、クリーンルーム設備、その他食品・医薬品・クリーン関連機材
検査・計測・環境関連機材	試験機、測定機、計測機、異物検出機、検査・分析機、選別機、形状認識装置、洗浄機、包装廃棄物集積・処理設備機器、リサイクル装置・システム、環境コンサルティング、包装試験・検査・診断サービス、LCA・CFP・GHG算出コンサルティング、ブロックチェーン技術、その他検査・計測・環境関連機材
包装デザイン&サービス	商品企画、グラフィックデザイン、パッケージデザイン、委託充填包装(包装&製造受託(OEM/ODM))、プラントエンジニアリング、包装試験・検査・診断サービス、包装設計・手法・規格サービス、包装関連システム・ソフト(CAD/CAM)、包装コンサルティング、R&D、店頭サイン・POP、マーケティング・販促支援、ギフト、ラッピング包装、その他包装デザイン&サービス
【物流・MH・包装ソリューション】	物流システム機器(保管・搬送・仕分け・ピッキング・情報管理など)、AGV・AMR、搬送車両、パレット・コンテナ、自動梱包機・梱包ライン機器、物流資材、3PL、サステナブル物流、その他物流・MH・包装ソリューション
次世代テクノロジー	スマートパッケージング、トレーサビリティ・ブロックチェーン、AI・ビッグデータ解析、ロボティクス、デジタルツイン、新素材技術、クラウドサービス、2次元コード、RFID、DX/GXソリューション、自律走行車、ウェアラブルデバイス、その他次世代テクノロジー
PR・プレス	新聞・雑誌、書籍、映像、調査、教育・研究機関、大使館、領事館、団体、行政、自治体、スタートアップ企業、全国商工会議所

■来場対象業種 下記業種の方々や、一般・学生の方々などへも来場誘致を実施します。

食 品	医 薬 品	日 用 品	化 学	鉄 鋼	流 通
飲 料	化 粧 品		織 維	機 械	商 社
農 林	トイレットリー	雑 貨	衣 料	電 気	物 流
水 産				自 動 車	

TOKYO PACK 2026 開催テーマ

包みの技術で 世界に優しさを

Innovative Packaging Technology ~The link between our future planet and generations~

TOKYO PACK 2026では、開催テーマを具体化した下記4つの出展テーマを設定します。出展申込フォームにある該当する出展テーマを選択すると、出展社個別ページで選択した出展テーマが表示されるサービスをご用意します。また、4つの出展テーマに沿った併催行事を企画します。

「エコパッケージが切り拓く未来」

注目テーマ サーキュラーエコノミー、持続可能な社会の実現に資する包装技術、資源循環に資する包装技術、脱ワンウェイ、温室ガス抑制（紙化・バイオマス）、包装の小型化・薄肉化・単純化、マテリアルリサイクル（モノマテリアル、複合材料分離）、ケミカルリサイクル、管理手法としてのブロックチェーン、マスバランスなど

サステナブルな社会の実現には、サーキュラーエコノミーとカーボンニュートラルを一体的に推進することが不可欠です。

その解決策として、従来の3Rに加え、「Renewable」を強化する動きが加速しています。近年は、リサイクル可能な素材やバイオプラスチックの採用が増加し、特に紙製品の包装材が注目を集めています。

さらに、海洋プラスチック問題の解決に向けた取り組みも活発化しています。資源循環を考慮したデザインの導入が進み、包装材の分別回収や再利用を容易にする技術が普及しつつあります。また、これらの取り組みを支えるためには、情報流通の基盤を構築し、動脈側と静脈側の新たな施策によるライフサイクル全体での連携強化が求められます。

特に、近年はEPR制度が世界各地で導入され、企業に対する環境対応の責任の明確化が求められています。

「包装と未来のスマート革命」

注目テーマ AI、IoT、ロボティクス、デジタル化、設計技術、自動化（省力化・省人化）、RFIDなどの導入による技術革新

日本では高齢化社会が進み、生産労働人口の減少が深刻な課題となっています。この影響は包装や物流の現場にも及び、労働力不足への対応が急務となっています。このような背景から、Eコマースの拡大やSKUの多様化に伴い、管理コストや作業コストを削減するため、自動化やデジタル化へのニーズが急速に高まっています。

また、最新のデジタル技術を活用したスマートパッケージングが、物流現場や生活者体験に革新をもたらしています。RFIDタグや二次元コードを組み込んだ包装材は、在庫管理やトレーサビリティを容易にし、効率的な物流運用を可能にしています。同時に、生活者が製品情報やリサイクル方法にアクセスできる仕組みを提供し、包装の付加価値を高めています。

更なる生産性向上を目指すには、次世代技術の導入と継続的な技術革新が不可欠です。

AIを活用した需要予測システムや自動化された包装ラインの導入は、労働力不足の問題を解決し、スマートパッケージングの普及は包装の付加価値をより一層高めると期待されています。これらの取り組みを通じて、持続可能で効率的な包装と物流の未来を築くことが求められています。

「包装機能が支える持続可能なライフスタイル」

注目テーマ 食品ロス・ロングライフ、鮮度・品質保持、表面処理、加工技術、加飾技術、設計技術等

世界の人口は80億人を超え、その一方で、世界で生産される食糧の約3分の1が廃棄されていると言われています。増加し続ける人口や、SDGsのテーマである「持続可能な世界」を考えると、限りある食材や食品を無駄なく活用することは、全世界共通の喫緊の課題です。この課題において、包装は食品ロスの削減における重要な役割を担っています。

さらに、包装は生活者にとって、使いやすさや五感に訴えかける機能性が求められる中、最新の包装デザインは「よりおいしく、より簡単に、より安全に、より便利に」というニーズに対応しています。例えば、個食化の需要が高まる中、持ち運びやすく調理が容易な包装が多数登場しています。

このように、包装は単なる「包む」機能にとどまらず、食品ロスの削減や生活者の体験価値向上を通じて、持続可能な社会の実現においてますます重要な役割を果たしています。

「印刷・表示技術から始まる情報伝達革新」

注目テーマ 最新印刷技術（オンデマンド（デジタル）、オフセット、グラビア、フレキソ、スクリーン等）、インクの技術革新、3D技術

包装の重要な役割である「情報伝達」は、主に印刷・表示技術が支えています。製品の内容物や取り扱いに関する基本情報を提供するだけでなく、販売促進や店頭での訴求効果を高める重要な機能も担っています。特に近年、軟包装業界では少量多品種生産への対応が進み、フィルム資材の無駄や余剰在庫の削減を通じて環境負荷を低減するニーズが高まっています。これに伴い、高精度なデジタル印刷技術が採用され、パーソナライズされたデザインや短納期対応が可能になっています。近年では、パッケージ上でのインク活用の可能性がさらに広がり、鮮やかな表現や特殊な触感加工に加え、環境負荷を低減する新しいインク技術が注目を集めています。

また、インクレスやラベルレス技術の進展も見逃せません。UVレーザー印字やエンボス加工といった技術を活用することで、インクやラベルを使用せずに必要な情報を容器や包装材に直接記載する方法が普及しつつあります。これにより、プラスチック使用量を削減し、リサイクル性を向上させると同時に、資材コストの削減も実現しています。

例えば、飲料業界ではラベルレスボトルが急速に広がりを見せています。

このように、高度な印刷・表示技術によって、包装の情報伝達機能は従来の枠を超え、生活者体験の向上や環境への配慮など、より重要な役割を果たすツールへと進化しています。

出展要項

東京ビッグサイトでは、施設の経年劣化への対応及び各種設備更新等のため、施設の休館を伴う大規模改修工事を実施しております。会場となる東展示棟につきましても、利用を予定している全ての展示会に対し、約2年にわたり利用が制限されます。そのため、TOKYO PACK 2026は、前回(TOKYO PACK 2024)と比較すると、総展示面積が大幅に減少することから、例年以上に早く定数に達することが予想されます。お早めに出展申込みいただくことをお勧めいたします。

■通常出展料金 1小間単価

通常小間サイズ(主催者企画ブースを除く):
間口2.97m×奥行2.97m=8.82m²

出展料金区分	会 員	一 般
出展料金(税込)	¥ 341,000	¥ 429,000
本 体	¥ 310,000	¥ 390,000
本体消費税10%	¥ 31,000	¥ 39,000

※「会員」とは、主催者である公益社団法人日本包装技術協会ならびに日本MH協会の法人会員に入会・登録している法人のこと(個人会員、また法人会員の関連企業は含まれません。“一般”の出展料金が適用されます)。

■早期申込・大小間出展特典

① 2025年12月12日(金)までに出席申込みいただくと、下記より希望するエリアを選べる早期申込特典をご用意します。

- 東1～3ホール
- 東7・8ホール
- どちらでも可

※必ずしも希望するエリアを約束するものではありません。
小間位置は申込み順、過去の出展実績、小間形状等を勘案し主催者が決定します。
※各エリアとも先着順、定数に達し次第締切となります。

② 20小間以上で申込みいただくと、大小間出展特典として

1小間につき **10,000円割引!**(消費税別)

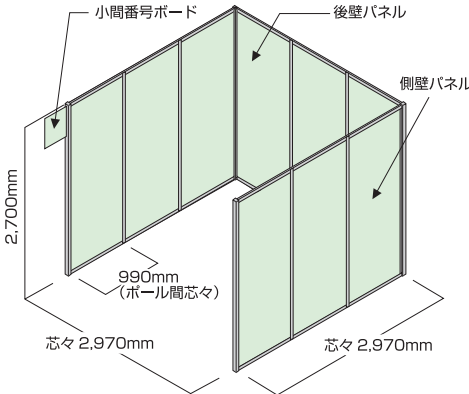
■出展申込締切日

2026年4月24日(金)まで

※左記期日前に満小間になった場合、出展キャンセルが発生次第、出展申込先着順にご案内します。

■基礎小間

- 通常小間サイズ(主催者企画ブースを除く)は、奥行2.97m×幅2.97m=約8.82m²、高さ2.7m
 - 壁面はすべて厚さ4mmの白色塩ビシートのシステムパネルとアルミ支柱により構成されています(隣接小間がある場合、その接している面のみ)。
 - システムパネルは下記のような事が出来ません。
 - ・ 釘や鉚等を打つこと
 - ・ 粘着性の強い両面テープ等を使用すること
 - ・ 接着剤を使用して製品説明パネルや切抜き文字を取り付けること
 - ・ 取り外したり、切断、加工したりすること
 - ・ 出展物・装飾物を直接もたせかけること
- ※システムパネルおよびアルミ支柱はリース品ですので、取り扱いには十分注意してください。



■小間形状 ※従来のブロック3(縦3小間分)はございません。

シングル(縦1小間分)

該当小間数:1～6小間

ダブル(縦2小間分)

該当小間数:4～12小間

ブロック4(縦4小間分)

該当小間数:16小間以上
(16・20・24・28・32小間)

ブロック5(縦5小間分)

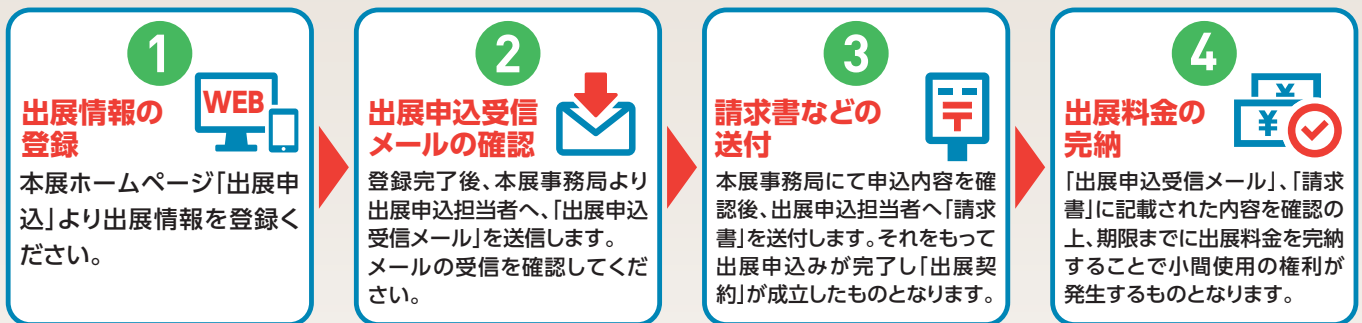
該当小間数:25小間以上

※認められない小間形状・配置: L字状の小間形状、シングル小間にて3面を通路に接する配置、1社で通路を挟んだ小間配置
※ブロック4、ブロック5も隣接・背面合わせとなる場合があります。
※一辺が30m以上の場合は独立小間とします。

■出展申込方法 ※2025年9月24日(水)より出展申込の受付を開始します。

TOKYO PACK 2026の出展申込は、オンライン方式となります。本展ホームページ「出展申込」よりお手続きください。

出 展 申 込 完 了 ま で の 流 れ



※出展対象に該当しない場合、また、出展内容が本展に相応しくないと本展実行委員会並びに主催者が判断した場合、出展申込みをお断りする場合があります。予めご了承ください。

※1社で2カ所以上に出展する場合(例:異なる部門からの申込み、出展対象分類が異なる出展製品を取扱う場合等)、それぞれ出展申込みを行ってください。

■TOKYO PACK 2026 出展規約一部抜粋

TOKYO PACK 2026(以下「本展示会」といいます)へ出展される方(以下「出展社」といいます)は、本出展規約(以下「本規約」といいます)に定められた条件に従って出展を行うものとします。

出展契約と小間使用の権利

- (1) 出展社は、本展示会への出展を希望する場合、本展示会的主催者である公益社団法人日本包装技術協会(以下「主催者」といいます)に対し、本展示会ホームページ上にある「出展申込」より手続きを行うか、主催者が定める申込方法にて手続きを行うものとします。
- (2) 主催者は出展希望者から申込みされた内容を確認、承認後、「請求書」を出展社に送付します。
- (3) 主催者が「請求書」を出展社へ送付することによって、出展契約が成立したものとします。但し出展社が、「請求書」記載の指定期間内に本規約に従って出展料金を全額を完納するまでは、小間を使用する権利は発生しないものとします。

出展申込の拒絶

- (1) 主催者は、出展社または展示を予定している展示物が、本展示会の開催目的や出展対象に不適当だと判断した場合、出展申込みを拒絶する権利を有するものとします。
- (2) 出展社からの執効な申し立てにより、本展示会の正常な運営に支障をきたすと主催者が判断したときは、主催者は当該出展社に対し、出展そのものを取り消すことができるものとします。本条に基づき主催者が出展契約を解除した場合、本規約に従ったキャンセル料及びその他の損害の賠償を出展社に請求することを妨げられないものとします。

出展料金の請求と支払い

- (1) 本規約に基づき「出展契約」が成立した場合、出展社は、「請求書」に記載の期日までに、出展料金を全額を、指定金融機関口座に振込むことにより支払いを行うものとします。
また、振込手数料は出展社が負担するものとします。
- (2) 出展社が「請求書」の期日までに出展料金を全額の振込みを行わない場合、主催者は、当該出展契約が解約されたものとみなすことができるものとし、その場合主催者は、出展社に対し、本規約に従いキャンセル料を請求することができるものとします。

出展申込後の取消しとキャンセル料

- (1) 出展社が出展申込みを行った後、出展社からの小間出展の取消・変更は原則として認められないものとします。
- (2) 前項に拘わらず、出展社が出展契約の解約・変更を希望する場合、主催者に対し、その理由を明記した書面による解約通知を送付するものとし、主催者が当該解約又は変更が不可抗力に基づくものと認め出展契約の解約を承諾する場合、出展社が、その解約通知を主催者が受領した日(以下「基準日」といいます)に応じた下記のキャンセル料を直ちに主催者に支払うことを条件として、出展契約は解約されたものとします。

キャンセル料

(以下の期間は主催者が解約通知を受領した日を基準とします):

- ① 出展契約成立から 2026年4月24日(金)まで 出展料金 全額の 20%
 - ② 2026年4月25日(土)から 2026年6月26日(金)まで 出展料金 全額の 50%
 - ③ 2026年6月27日(土)以降 出展料金 全額の100%
- (3) 前項に基づき出展社が解約通知を行った時点で、出展社が既に主催者に対して出展料金の全部または一部の支払いを行っている場合、前項に定める

キャンセル料は、当該支払済みの出展料金から充当されるものとし、充当後残金がある場合は、主催者の定めた方法及び期日において主催者から出展社に返金されるものとします。なお、出展社は、出展社の支払済みの出展料金がキャンセル料に満たない場合はその差額を、出展社が出展料金を支払っていない場合はキャンセル料全額を、直ちに主催者に支払うものとします。

- (4) 出展社が、その解約通知から2週間以内に、前項後段に規定するキャンセル料または差額を主催者に支払わない場合、第2項に定めるキャンセル料の基準となる基準日の定めにかかわらず、キャンセル料は、出展料金全額の100%となるものとします。

出展料金に含まれる費用

出展料金には、以下の費用が含まれるものとします。
出展小間スペース/仕切壁(隣接小間のある場合の後壁・側壁)/規定分の来場者案内物(来場案内状・ポスター等)/公式Webサイトの出展社一覧への社名掲載及び出展社情報の掲載(1小間につき2社まで)/別定供給限度内までの電気幹線工事費/共用施設の工事費・維持費及び展示会全体の企画・運営・管理費

出展料金に含まれない費用

出展料金には、以下の費用は含まれないものとします。
出展社の自社小間の装飾・搬入出・運営費/電気・ガス・水道などの工事費及び使用料/通信回線の工事費及び使用料/リース備品使用料/搬入出・会期中の駐車場代/ゴミ・残材処理費/搬入出作業及び展示実演中に発生した事故に係る費用/会場設備・備品・他社展示物等の破損に伴う弁償費用/自社の展示物等に掛けた保険料/法令・展示規定に基づく展示装飾等の改修費用/その他に規定された出展料金に含まれない費用

小間位置の決定

出展社の小間の位置は、主催者が決定した図面をもとに、出展内容・申込順・過去出展実績・規模・使用機材やスペース構成などを総合的に勘案し、主催者が決定するものとします。主催者は来場者整理、展示効果向上、関係法令遵守のために、小間位置(会場レイアウト)を変更できる権利を有します。出展社は、小間位置の変更に関する申し立てや賠償請求、小間位置の事前案内を求めることはできません。

展示会の延期・中止

- (1) 天災・人災等の災害や不可抗力により本展示会の開催が困難と主催者が判断した場合、主催者は、本展示会の延期・中止を決定できるものとします。
- (2) 主催者は、本展示会の開催を中止する場合、出展料金から必要経費を差し引いた金額を出展社に返却するものとします。
- (3) 本展示会の開催を延期する場合、出展社の支払った出展料金は、当該延期された展示会に対する出展料金とみなされるものとします。但し、本展示会が大幅に延期されることにより、出展社の営業活動上、本展示会へ出展する意義に重大なる影響があることを出展社が主催者に通知し主催者がそれを認めた場合、出展社は、出展契約を解除することができるものとし、その場合、主催者は第2項に準じて出展料金の返却を行うものとします。
- (4) 主催者は、第2項及び第3項に定められた返金を行う以外、本展示会の延期又は中止に関して、一切の義務を負わないものとし、当該中止又は延期によって出展社に生じた費用・損害等についての返金、賠償などに関する責任を一切負わないものとします。

出展の効果について

※TOKYO PACK 2024出展社および来場者アンケートより抜粋

その他のアンケート情報、出展社一覧など詳細は本展ホームページにてご確認ください。

会 期 2024年10月23日(水)～25日(金)3日間

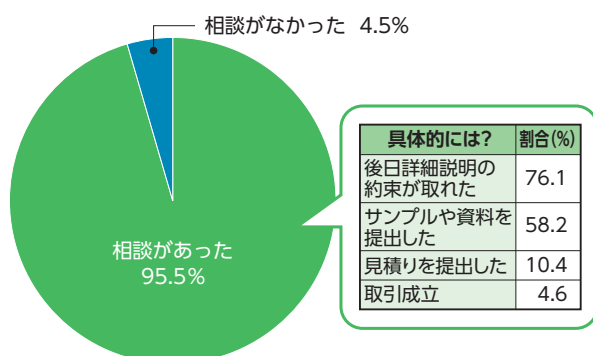
会 場 東京ビッグサイト 東1-6ホール

来場登録者数 / **入場者数** 来場登録者数▶**70,712名** / 入場者数▶**221,301名**

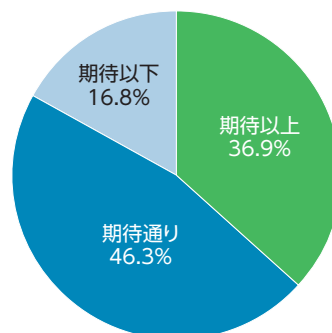
※ **来場登録者数**：WEB来場事前登録を完了し、実際に会期中に本展へ来場した人数。一人の方が会期中、複数回または複数日にわたって来場しても、カウント数は1名。

※ **入場者数**：東京ビッグサイトのゲートに設置されたセンサーがカウントした人数。

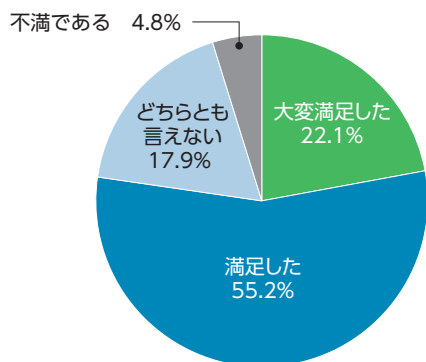
95%以上の出展社が会期中相談があったと回答！



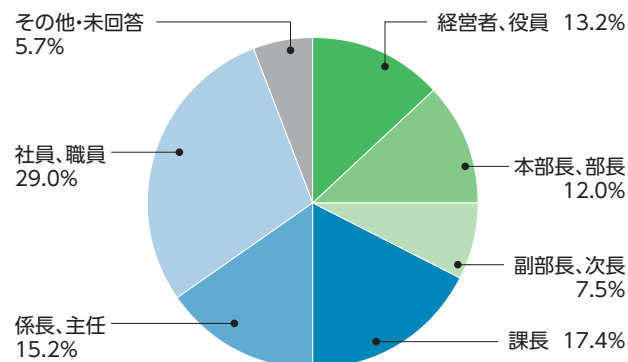
80%以上の出展社が期待通り・期待以上と回答！



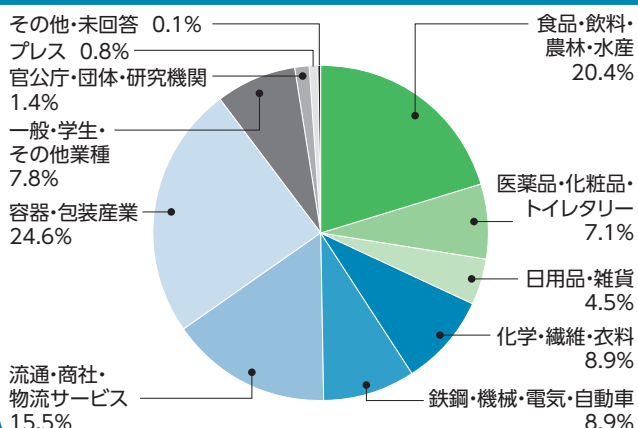
75%以上の出展社にご満足いただけました！



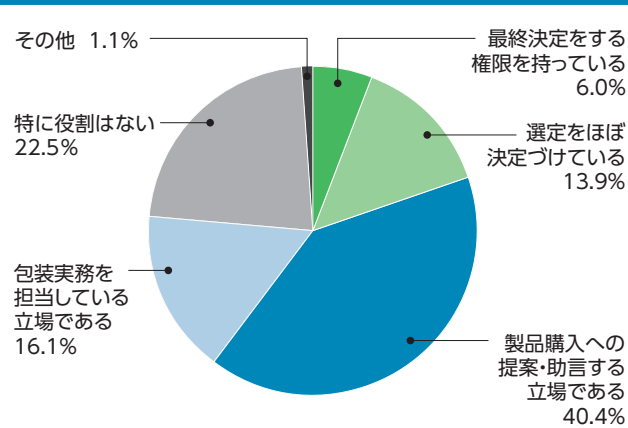
来場者の30%以上が部長職級的意思決定者！



包装に関わるあらゆる業界の企業が来場！



来場者の60%以上が製品購入へ影響していると回答！



TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2026

The logo features a red stylized globe icon with a white grid pattern, positioned to the left of the text.

TOKYO PACK 2026

■お問合せ

2026東京国際包装展事務局

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル 公益社団法人日本包装技術協会内
TEL 03-3543-1189 FAX 03-3543-8970 e-mail : t-pack@jpi.or.jp

TOKYO PACK 2026

検索

